



あお やま のり たけ  
**青山 武**



こうめいとう きいんたん  
**公明党議員団**

### 中心市街地の新たなまちづくりは

**問** 中心市街地（大門・丸之内地区）の新たなまちづくりについては、今後は都市計画部で担うことの意味合いをしっかりと踏まえ、商工観光部で担う場合の考えから、さらにもう一歩進んだ大きな視点で、まちづくりを一から創りあげるための調査研究をすべきであると考えているが、どうか。

### 未来ビジョンづくりに 向けて取り組んでいく

**答** 都シティ津の営業終了に伴い、まちの求心力が低下しているこのタイミングを捉え、従来の商業活性化を主としたまちづくりの枠を超えた未来ビジョンを描くため、都市計画の視点から、都市空間、まちの歴史、津らしさの3点の検討をしていく。未来ビジョンを描くに当たっては、エリアプラットフォームの構築の準備を含め、調査や議論の過程を市民に見える形で広めながら、官民が連携してつくり上げていくことが重要である。将来にわたって津市の顔となる大門・丸之内地区の新たな未来ビジョンづくりに向けて、しっかりと取り組んでいきたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 犯罪被害者等支援条例策定の進捗状況は
- 中央市民館の役割は
- 津市職員と特定飲食店との関係について
  - なぜ参加券を配布して動員するようになったのか
  - どのような強要があったのか



▲津センターパレス



さか い だ しげる  
**坂井田 茂**



いっ しん かい  
**一津 会**

### 少人数学級編制の推進 に向けた取り組みは

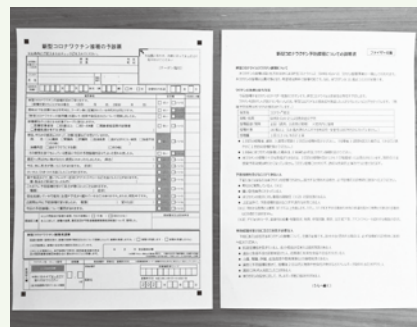
**問** 学校現場では、新型コロナウイルス感染防止対策による教職員の負担が増え、皮肉にも、働き方改革の流れに逆行する事態となっている。津市の教育大綱に掲げる「教員が子どもたちと向き合う時間の確保」に向け、30人学級を目指して、3年生以上を対象とした特例措置や中学校の学級編制基準の引き下げを、津市独自の対策として進めるべきと考えるが、市教委の見解は。

### 教員の確保や質の向上、 教室の確保等に努める

**答** 県からは、みえ少人数加配による小学1・2年生での30人学級の継続に加え、小学3年生を対象に、1年前倒しして35人学級編制を実施することが示された。これにより、直ちに津市において教員数や教室数が急増するわけではないが、この措置に今後対応できるよう、必要となる教員の確保や質の向上、教室の確保、整備に努めていく。引き続き、中学校における学級編制基準の引き下げを国に対して要望するとともに、25人の下限条件の撤廃など、みえ少人数加配の拡充等について、県へ要望していく。

### ●その他の質疑・質問●

- タブレット端末の使用による児童生徒の視力低下や悪化に対処するための運用指針について
- 新型コロナワクチン接種に関して
  - 公正な接種方針について
  - 接種時の「予診票・接種希望書・同意書」の扱いについて
  - 事前相談窓口の設置について
  - 接種後の副反応への対応と健康被害救済制度について など



▲ワクチン接種時に使用予定の予診票と説明書